

Q 一 般 質 問

議員は「住民に代わって」村の行政全般に対して、事務の執行状況や将来の方針、計画あるいは疑問点などについて所信や疑問をたずることができます。

表紙は語る

これは新島村に伝わる「馬鹿囃子」の式根島馬鹿囃子保存会による練習風景。

この踊りは江戸時代、流人たちが淋しさを紛らわすため、思い思いに踊ったのが由来ではないか、とされている。確かにその身ぶり手ぶりには定型的な様式はなく、このことが逆に喜怒哀楽の感情の発散を一層盛り立てているように

も見える。

保存会では今に伝わるこの踊りを後世に残そうと練習に励んでいる。現在、会員は男子5名、女子10名、3月の文化祭の発表に向け、式根島福祉センターを借りて毎週金曜日、夜7時半に行なっている。できる限りにぎやかにハデに繰り広げたいという思いがあり、只今特訓中。

山本均議員



住民公聴会の結果は？

問

11月26日～28日まで地区ごとに住民公聴会が実施された。今回は産業振興をテ

マに行なわれたが、みなさんの関心度、出席状況はどうだったか？

答

3地区の参加者はそれぞれ本村34名、式根島28名、若郷22名となった。産業振興には2時間では足りないと言われた。今後はじっくり時間をかけて話し合いをしたい。

新島村の一致団結力を発揮して各団体が横の連絡を密にして夏に向けて色々なイベントを組むことが大切。





観光振興策として新規事業はあるのか？

問 観光業を活性化、発展させるため

にどのような事業を考
えているか、その規模、
目的、ねらい等も合わ

せて教示願いたい。

答 各産業団体と協
議して観光客に

喜んでもらえるイベン
トを考え実現してい
く。新規では新島アク
アスロン大会、サー

フィン大会マスタ
リーグ、プロアマの
OBG大会を実施し、
民間のサバイバルゲ
ーム事業を支援する。
自ら努力しさらなる
振興策を打ち出して
いる観光産業団体には
積極的に支援し経済
の牽引役を担って
もらう。

生活保護と生活困窮
家庭の間

問 生活保護法の改
正によりその認

定に関し、実際の現
場で厳しく査定され
認定されにくくなる
のではないかと危惧
する。国の意向を受
けて村はどのような
対応をしてきたか。

答 法の改正に伴
い村では民生児童

委員の活動をはじめ
、住民の方々の生活
状況を把握し、各関
係機関

との連絡調整を強
化し、その中で本
当に生活に困窮し
ている世帯には積
極的に関与し、安
心した生活が営め
られるよう、これ
までと同様に
対応していく。

その後の特養ホ
ームは？

問 前回、特養ホ
ームの質問をし

た。この2カ月余
りの間にホームに
変化があったの
か、村はどの



ように関わってきたのか、改めて訊く。

答 4月からは12月現在の単純な人数増減では6名退職、4名休業中、4名就職し、差し引き6名の減となっている。本施設の最低必要人員は69名で全職員は69名だが、非常勤の割合が高く、常勤換算職員数では実質8名の不足となる。

村は今後もはまゆう会と綿密な連絡、連携をとり、安定した施設運営が行えるよう引き続き支援していく。

避難訓練の成果は？

問 今年の訓練の結果は今後の計画作りにどのように反映されていくのか？

答 今回の訓練は津波避難を目的に各自の避難行動を再確認し

ていただいた。合わせて津波避難行動調査を行い、計画の詳細なデータとして利用する。

問 自主避難できない人たちに対し、どのように避難してもらうのか？

答 今回の調査で自力避難困難者がほぼ確定したので今後、各自の対策をまとめていきたい。

問 式根島には別の対応策が求められないか？

答 避難対象地域の30メートル以下の住居はかなり多く、島全体での津波避難は重要である。

問 地震・津波によって機能的に新島と分断された場合、式根島独自で対処できる態勢作りをしていくことが重要ではないか？

答 緊急性が高い場合は支所長が判断し対処するよう指示している。

問 予備の貯水タンクの増設、ソーラー発電等の非常電源が必要では？

答 防災計画にはないが、今後、検討していく。

問 独居のお年寄りに対して新たな緊急通信網の確立を！

答 現在、新島、式根島では一人暮らしの方が多く見られる。緊急発信が役場、支所、診療所等につながる新たな緊急通信網が必要かと思う。村長に伺う。

問 日進月歩の通信、ITなどを利用して新島村で可能なものは、今後検討を重ねていきたい。

答 日進月歩の通信、ITなどを利用して新島村で可能なものは、今後検討を重ねていきたい。

青沼進二議員



高校生までの医療費無料化について
治体の状況等を分析し、検討する。

問

村長は「この島で生活する誰もが安心、安全で暮らせる村を」と言っている。その中で高校生までの医療費の無料化の実現を願う。村長に所見を伺う。

答

調査の結果は全体で賛成が二百二十二件、反対が20件、どちらとも言えないが百八十三件となった。

議会からのお知らせ

村議会では議会を住民のみなさんにより身近で親しまれる存在にしていきたいと思っております。

どのようなにしていいたらよいか、みなさんのアイデアを求めます。各議員や事務局までお申し出下さい。文書でも口頭でも構いません。ふるってご応募下さい。お待ちしております。



清水欣吾議員



小規模企業振興基本法の成立に伴う村の支援は？

問

本法は平成26年6月に成立した。

小規模事業者の多様な需要に応じた事業活動の推進を図る振興策を講じるとある。



そこで日本政策金融公庫が融資する経営改善貸付資金の利子補給の支援をする考えはなにか、お訊きする。

答

地域の商工会や金融機関と話し合い、地域事業者の振興策として有効な手段等の検討をしていく。